

タイトル 東大生が南島原市の空き家対策へ政策提案

令和3年度より受け入れている東京大学2022年度フィールドスタディ型政策協働プログラム（東大FS）の現地報告会を開催します。

東大FSとは、社会課題に果敢にチャレンジするリーダー人材の育成を行うプログラムで、各地域が提示した課題解決の道筋提案に向け、1年をかけて事前調査、現地活動、事後調査、現地報告等を行うものです。

記

- 1 テーマ 空き家を生かした地域づくり
- 2 日時 3月16日（木）午後2時～（1時間程度）
- 3 場所 市役所西有家庁舎3階 大会議室
- 4 参加予定 東大生4名、市長、副市長、地域振興部長ほか
- 5 今年度の活動
 - （1）8月23日（水）～26日（土）
市内視察、空き家見学、移住者・島原翔南高校生との交流など
 - （2）11月4日（土）～6日（月）
ワーケーション時のおすすめ体験活動、空き家に関するアンケートなど
- 6 提案内容（予定）
 - （1）南島原市における空き家の現状
 - （2）空き家問題の背景とその解決策
 - （3）新たな空き家活用方法

※取材いただける場合は、事前に担当者まで、ご連絡いただけますと幸いです。

担当部署	地域振興部 地域づくり課	担当者	田中 徹
直 通	0957-73-6631	E mail	teijyu@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ☎			
担当者 連絡先			